

第2回 久米島町振興計画審議会
(久米島町総合計画評価委員会)議事概要・議事録

日時：令和6年12月4日（水）14:00～16:30

場所：久米島町役場本庁舎 2 階第 3・4 会議室

区分	氏名	所属	出席
会長	小島 肇	琉球大学 准教授	○
副会長	村吉 政太	久米島紬事業協同組合 参事	×
委員	半嶺 通男	久米島町特別顧問・久米島高校元校長	○
	津波 勝代	沖縄県立看護大学 島嶼保健看護アドバイザー	○
	岡村 盡	(一社)GOSEA 海洋深層水利用学会 事務局長理事	○
	山城 晶	久米島町教育委員会	○
	大城 将司	久米島町農業委員会	○
	藺田 眞理	久米島商工会 会長	○
	盛吉 敏夫	久米島町観光協会 副会長	○
	新城 悟	JAおきなわ久米島支店 副支店長支店長	○
	田端 裕二	久米島漁業協同組合 組合長	○
	宮里 一弘	沖縄振興開発金融公庫 課長	○
	與那 明子	久米島町女性会 会長	○
	吉本 景太	久米島町社会福祉協議会 事務局長	○
	幸地 伸也	久米島町総務課 課長	○
	吉永 みゆき	久米島町福祉課 課長	○
	宮里 みかよ	久米島町教育課 課長	○
事務局	古堅 宗治	久米島町企画財政課 課長	○
	長濱 光秀	久米島町企画財政課 班長	○
	山城 一斗	(株)国建 まち・しまデザイン部	○
	上机 竜介	(株)国建 まち・しまデザイン部	○
	中石 しずく	(株)国建 まち・しまデザイン部	○

次第	配布資料
1. 開会	次第
2. 報告事項	資料1:住民アンケート(クロス集計)
・住民アンケート(クロス集計)	資料2:関係団体意向把握
・関係団体意向把握	資料3:第1回職員ワーキンググループ
・第1回職員ワーキンググループ	資料4:第3次総合計画への課題整理
3. 審議	資料5:産業構造を軸とした将来フレームの検討
① 第3次総合計画への課題整理	参考資料1:第1回審議会議事録
(評価検証及び時代の潮流、現況データ、アンケートを踏まえた島づくりの課題)	参考資料2:学生アンケート・ワークショップの中間整理
② 産業構造を軸とした将来フレームの検討	
4. 閉会	

— 議事概要 —

No.	意見要旨	対応
第3次総合計画への課題整理について【資料4】		
1	【P8】 町の関連計画について福祉分野の計画は掲載されていないが、これが全てという訳ではなく、主な計画を抜粋しているという認識でよいのか。	資料には、主に関連する計画を抜粋して整理している。
生活(社会)に関する課題		
2	●住まい 島に魅力を感じ移住を希望するも、住まいが無いという声はよく耳にする。関係団体各所で共通する課題としても、人材は欲しいが住まいが無いという意見が挙がっている。居住については早期に解決が必要と感じる。	現在は、これまでの10年を検証して、次進むべき方向性について議論しており、計画の入り口の段階である。具体的取り組みについての細かな議論については、次年度に進めていく。意見は今後の施策検討に反映する。
3	●交通【資料1関連】 アンケート調査時の状況として、今年6月～11月まで観光バスが無い状況で二次交通の課題が特に逼迫していた。10月末から新事業者が確定し、より多くの利用者、団体客も受入れ可能と強力な体制になった。また、EV車両の実証実験も行っており、結果についても検討に反映していきたいと思う。	
4	●教育 久米島高校魅力化から、今後は子どもが生まれてから、幼小中高教育一体の魅力化にシフトして取り組むべきかと思う。離島で人数が少ないからこそ、児童生徒一人一人に寄り添う教育が実現できると考える。	
生業・産業(経済)に関する課題		
5	【P17】 生業・産業(経済)に関する課題について、「地消地産」と「地産地消」の表現が混在している。この2つは意味が異なるので、明確に書き分けた方が、課題・対策が明らかになると思う。 地元で生産したものを地元で消費する意味の「地消地産」が重要である。六次産業化も島内で賄えると地域経済の循環が可能になる。地消地産、雇用創出、六次産業化は関連付けて施策展開していくべきである。 島内産物の加工品が地元で流通していないと感じる。ポテンシャルがある産物について、研究、活用、商品化によって地消地産を進めていければよいのでは。	(事後回答) 今後の施策検討に反映する。
今後の意見収集		
6	若い女性の流出が多い。地方では、男性社会で女性の立場がまだまだ弱い課題もあるかと思う。若い女性が島を離れる原因を深く掘り下げて対応を検討する必要がある。	(事後回答) 今後、住民ワークショップを実施して意見収集を行い、施策に反映する。
7	計画のテーマに掲げている久米島らしさとは何か、今困っていることは何か、すぐに答えられる住民は少ないだろう。住民の本音、困り事を徹底して拾い上げて欲しい。	

No.	意見要旨	対応
産業構造を軸とした将来フレームの検討について【資料5】		
シナリオの方向性について		
8	人口目標は必ず設定すべきものなのか。	一体的に策定している総合戦略の位置付けとして、目標人口を設定しているが、目標数だけを重視するものではない。縮小しながらもいいまちをつくる視点が重要と捉えている。 今回の総合計画では、就業者数と総生産を重視して産業推進しながら、教育や福祉への対応等の社会基盤を強化する方向を検討している。
9	消去法でいうと、事務局案のシナリオしかないと思う。細かな課題等の整理は今後行っていくと思うので、方向としてはこの案でよい。	
目標値(就業者数)の設定		
10	【P2】 各産業の現状等で「医療・福祉事業の就業者数が増加」とあるが、現状の就業者数を維持するための取り組み、人材の確保、人材育成の視点も必要と考える。	(事後回答) 今後の施策検討に反映する。
11	【P8】 シナリオの方向としては事務局案でよいと思う。 目標値の設定について、R2はコロナの影響で飲食業は特に就業者数に影響があったと思うが、R2の数値をそのまま実績値として用いてもよいのかが気になる。 R2に特化した数値という可能性もあるのでは。 また、目標値設定の考え方で「保留」となっている項目は、目標値の数字のことか、もしくは考え方を指すのか。	コロナの影響で大きく減少した事実はあるが、発展させていくためには、今後増加する観光需要に対応できるよう、コロナ以前より増やすという考えで設計している。 目標値は、各産業へのヒアリング結果も加味して設定した案である。今後どこまでの就業者数が望ましいのか、考え方も含めて再度ヒアリングしながら現実的な目標値を設定していく。
シナリオの表現		
12	各シナリオの名称や説明について、事務局の主観で恣意的な表現が多く、最終的な評価への誘導が見える表現になっている。今後対外的に出す資料としては、客観的な表現で示して欲しい。 「人口維持シナリオ(人口増加)」という表現だと、どちらに向かうのか分かりにくい。	町民全体で掲げる目標のため、適切な表現として修正を加えながら、わかりやすいように整理する。
13	「受け身シナリオ」の説明で「特段の対策を講じず」とあるが、この10年間で久米島町は各施策の取り組みによってよい方向に向かっていると感じているが、人口は単純予測では減少している。この現状を維持することを「受け身シナリオ」としてネガティブなだけの表現とするのはどうなのか。	
合意形成		
14	【P10】 各シナリオの評価は、企画財政課を含めた事務局の評価と認識してよいか。今後、役場内での合意形成もあると思うが、しっかり手順立てて進めて欲しい。	現時点は事務局・コンサルで作成した案である。 (事後回答) 今後、庁内委員会でも案を示し、合意形成を図る。

—議事録—

1. 開会

- 開会のあいさつ(小島会長)

2. 報告事項

- 報告事項の内容については審議事項①の課題整理に反映されているので、その際に意見いただきたい。審議時間が限られているため、質問や個別の確認、修正等の意見については、委員会終了後に事務局まで提出ください。(小島会長)

3. 審議事項

① 第3次総合計画への課題整理【資料4】

小島会長	課題の設定について、足りない視点や認識のずれがないか等、ご意見をいただきたい。
吉本委員	今回の審議会について、確認させてほしい。審議会名称は「久米島町振興計画(評価委員会)」で、検討しているのは総合計画、総合戦略ということか。名称が複数あるが、それぞれ計画の役割等が異なるのか、改めて説明して欲しい。
事務局	本会議は、「久米島町振興計画審議会」が正式名称である。かつこ書きで記載している「久米島町総合計画評価委員会」とは、第1回と第2回審議会においては、第2次総合計画の評価検証を重点的に行う委員会として位置付けているため、このように記載している。 総合計画とは自治体の最上位計画であり、幅広い範囲を網羅した町の各事業の指針となる計画である。総合戦略とは「デジタル田園都市国家構想戦略」の略称であり、国・県の総合戦略の方向性を勘案しながら、町の総合戦略を策定する努力義務がある。基本的に、人口減少に対応する取組やデジタルを活用したまちづくりを検討する計画である。また、総合戦略を策定することで、交付金等様々な支援を受けられるメリットもある。この2つの計画は似通う性質も多く、住民にもわかりやすい一本化した計画とするために、総合計画の基本計画と総合戦略で一体的に策定を進めている。
吉本委員	【8頁】町の関連計画について福祉分野の計画は掲載されていないが、これが全てという訳ではなく、主な計画を抜粋しているという認識でよいのか。
事務局 (コンサル)	資料には、主に関連する計画を抜粋して整理している。
宮里委員	【17頁】生業・産業(経済)に関する課題について、「地消地産」と「地産地消」の表現が混在していると感じる。この2つは意味が異なるので、明確に書き分けた方が、課題・対策が明らかになると思う。地元で生産したものを地元で消費する意味の「地消地産」が重要である。島の特産品づくりや、飲食業を含めた島内消費を活性化することで、雇用の拡大、ブランディングによる高付加価値にもつながるだろう。六次産業化も島内で賄えると地域経済の循環が可能になる。地消地産、雇用創出、六次産業化は関連付けて施策展開していくべきである。 また、資料3は関係団体から率直な意見が集まっており、非常に興味深い資料である。是非参考にしていきたい。
事務局	ご意見は今後の施策展開に反映する。

② 産業構造を軸とした将来フレームの検討【資料5】

小島会長	人口の将来フレームのシナリオについて説明があった。事務局としては、主要産業基盤、社会生活を支える考えで、「主要産業振興+社会基盤強」のシナリオが適当でないかとの提案であったが、皆様からご意見を伺いたい。
津波委員	【2頁】各産業の現状等で、「医療・福祉事業の就業者数が増加」とあるが、まさに自分自身が医療職で取り組みを進めた期間で、漠然と緊張しているという心境である。現状の就業者数を維持するための取り組み、人材の確保、人材育成の視点も必要と考える。
岡村委員	各シナリオの名称や説明について、客観的に各シナリオを示した上で、事務局の意図を説明する資料にして欲しいと感じた。事務局の主観で誘導的な表現が多いため、今後対外的に出す資料としては、客観的な表現で示して欲しい。 例えば、「人口維持シナリオ(人口増加)」という表現だと、どちらなに向かうのか分かりにくい。説明の表現も、最終的な評価への誘導が見える表現になっている。 【10頁】各シナリオの評価は、企画財政課を含めた事務局の評価と認識してよいか。今後、役場内での合意形成もあると思うが、しっかり手順立てて進めて欲しい。 また、「受け身シナリオ」の説明では「特段対策を講じず」とあるが、この10年間で久米島町は各施策の取り組みを精力的に進めており、個人的にはよい方向に向かっていると感じているが、人口は単純予測では減少している。この現状を維持することを「受け身シナリオ」としてネガティブなだけの表現とするのはどうなのかと感じた。
小島会長	資料の作り方で恣意的になっていないかという意見として受け止める。
事務局	シナリオは、現時点は事務局・コンサルで作成した案であり、事務局としてこうしたいという主観が入った可能性はある。町民全体で掲げる目標のため、表現の修正を加えながら丁寧に進めていきたい。人口減少への取り組みは全国共通の課題であるが、縮小しながらもいいまちをつくる視点が重要と捉えている。
與那委員	島に魅力を感じ移住を希望するも、住まいが無いという声はよく耳にする。関係団体各所で共通する課題としても、人材は欲しいが住まいが無いという意見が挙がっている。居住については早期に解決が必要と感じる。 また、島内産物の加工品が地元で流通していないと感じる。加工所はあるようだが、どのようなものが作られているかが分からない。月桃や紅芋はポテンシャルがあると思うので、研究、活用、商品化によって地消地産を進めていければよいのでは。
盛吉委員	観光分野に関連する現状として、情報共有する。 アンケート調査時の状況として、二次交通の課題が特に逼迫していた。島内で40年来運行してきた観光バスが事業終了し、今年6月～11月まで観光バスが無い状況であった。10月末から新事業者が確定し、より多くの利用者、団体客も受入れ可能な体制になった。今後は、タクシー等もニーズに応じて対応する予定であり、二次交通では強力な事業者が加わったことを情報として共有する。また、EV車両の実証実験も行っており、結果についても検討に反映していきたいと思う。 地消地産について、DMOで食に関する情報発信の取り組みを進めているが、まだまだ課題はある。先ほど與那委員の意見にもあった紅芋加工所は、加工品の原料の製造を主としており、8～9割程は本島に出荷している。
半嶺委員	近年の出生数と久米島高校の定員をみると、今後の久米島高校の存続は非常に厳しいだろう。教員の確保も難しい状況である。久米島高校魅力化から、今後は子どもが生まれてから、幼小中高教育一体の魅力化にシフトして取り組むべきかと思う。離島で人数が少ないからこそ、児童生徒一人一人に寄り添う

	教育が実現できると考える。 また、若い女性の流出が多い。地方では、男性社会で女性の立場がまだまだ弱い課題もあるかと思う。若い女性が島を離れる原因を深く掘り下げて対応を検討する必要がある。お父さん達が子育てに協力的でないという声も多い。
事務局	時間も限られているため、審議事項の方向性について再度確認する。町としては発展シナリオ②の「主要産業基盤＋社会基盤強化」の考えで検討を進めたいと考えている。この案で進めることについて、ご意見をお願いします。
與那委員	計画のテーマに掲げている久米島らしさとは何か、今困っていることは何か、すぐに答えられる住民は少ないだろう。住民の本音、困り事を徹底して拾い上げて欲しい。今回の資料からはそのような意見が見えてこない。
事務局	現在は、これまでの10年の検証をして、次進むべき方向性について議論しており、計画の入り口の段階である。具体的取り組みについての細かな議論は次年度に進めていく中で、住民意見への対応についても取り組んでいきたい。
半嶺委員	消去法でいうと、事務局案のシナリオしかないと思う。細かな課題等の整理は今後行っていくと思うので、方向としてはこの案でよい。
山城委員	人口目標は必ず設定すべきものなのか。
事務局	一体的に策定している総合戦略の位置付けとして、目標人口設定を検討しているが、目標数だけを重視するものではない。今回の総合計画では、就業者数と総生産を重視して産業推進しながら、教育や福祉への対応等の社会基盤を強化する方向を検討している。
吉本委員	シナリオの方向としては事務局案でよいと思う。目標値の設定について、R2はコロナの影響で飲食業は特に就業者数に影響があったと思うが、R2の数値をそのまま実績値として用いてもよいのかが気になる。R2に特化した数値という可能性もあるのでは。【8頁】目標値設定の考え方で「保留」となっている項目は、目標値の数字のことか、もしくは考え方を指すのか。
事務局 (コンサル)	コロナの影響で大きく減少した事実はあるが、発展させていくためには、今後増加する観光需要に対応できるよう、コロナ以前より増やすという考えで設計している。目標値は、各産業へのヒアリング結果も加味して設定した案である。今後どこまでの就業者数が望ましいのか、考え方も含めて再度ヒアリングしながら現実的な目標値を設定していく。
事務局	方向としては、事務局案で進める。適切な表現方法を工夫し、わかりやすいように整理していく。10年後の目標設定ではあるが、11頁にあるように長期目標として50年後も見据えて、その最初の10年間として検討している。

4. 閉会

- 参考資料1 第1回の議事録について修正等があれば事務局まで連絡いただきたい。(事務局)
- 次回審議会は、3月開催の予定である。(事務局)

以上

